

お寺にある素敵なのものを、発信していきたい

# YUJ 2012年 秋

平成24年11月5日発行（第15号）

ユジュ

「YUJ」とは「瑜伽」とも書き、サンスクリット語で、「結ぶ、繋ぐ」を意味します。

YUJを手にとった方とお寺が良い縁で結ばれますよう。

<http://www.kagawa-konzouji.or.jp/yuj@kagawa-konzouji.or.jp>



## 吉野 熊野

古来より信仰の地である  
吉野・熊野信仰の起源

### 壬申の乱

「私の病は重い。後事をお前に任せたい。」

「私はこれから吉野に参り、仏道修行をいたしたいと思えます。」

兄である天智天皇からの申し出に身の危険を感じた大海人皇子。



大峰奥駈道（釈迦ヶ岳付近）

子（後の天武天皇）は、すぐに剃髪し吉野の地へと向かわれました。天智天皇十年（六七二）十月十九日のことでした。

十二月三日、禍根を残したまま天智天皇は崩御されました。半年後、ついに古代日本最大の内乱といわれる壬申の乱の火蓋は切って落とされました。

吉野で態勢を整えた大海人皇子は、翌年六月二十四日、吉野を発ち美濃へと逃れます。美濃では臣下によってすでに兵が興されており、七月二日、大海人皇子は軍勢を二手に分けて近江と大和へと向かわせました。大友皇子の主宰する近江朝は

これに応じ、七月七日、息長の横川で両軍は衝突します。しかし、大海人皇子の軍が近江軍を退けると、以後連戦連勝を重ね、七月二十二日、雌雄を決する瀬田橋の戦いでも大勝しました。このため、翌二十三日に大友皇子が自害し、約一ヶ月に及ぶ戦乱は終結しました。

大友皇子の子であった与多王は、父の菩提を弔うため、天智天皇の念持仏であった弥勒菩薩を本尊とする寺の建立を発願し、天武天皇に上奏しました。その志に感じた天武天皇は、この寺に「園城寺」の寺号を与えられました。

## 吉野と仏道修行

さて、大海人皇子はなぜ仏道修行の地として吉野を選んだのでしょうか。当時の仏教の中心地は飛鳥宮（奈良県高市郡明日香村）でありましたが、大海人皇子が入られた吉野は吉野川を挟んだ南の地でありました。

すなわち大海人皇子の仏道修行というのは、山岳仏教の修行でありました。『日本書紀』にも「（大海人皇子は）天文や占星の術をよくされた」と記されており、陰陽道に通じていたことが分かります。この頃の陰陽道に通じた山岳修行者といえば、役小角が有名です。

「はじめ小角は葛木山に住み、呪術をよく使うことで有名であった。外従五位下の韓国連広足の師匠であった。のちに小角の能力が悪いことに使われ、人々を惑わすものであると讒言され、遠流の罪に処せられた。」

これは『続日本紀』文武天皇三年（六九九）五月二十四日条にみられる記事ですが、役小角は陰陽道に通じていた韓国連広足を弟子にもつことから、山岳

仏教の修行として陰陽道が重視されていたことが分かります。この時代には仏道修行のため

に吉野に入るものが少なくありませんでした。山岳仏教の修行者は群れをなして、武力までたくわえた山伏的集団でありました。大海人皇子が吉野に入ったのも、そういった山伏集団を勢力に取り組む目的があったのかもしれません。この大海人皇子の吉野入りを「虎に翼をつけて野に放つようなものだ」と評した記事が、『日本書紀』にみられるのもこのことを伝えているのでしよう。

一方、役小角が遠流された原因も、危険分子と判断されたためでしょう。くしくも吉野からのクーデターにより政権を奪取

した天武政権が、葛城を中心とする役小角一派に政権を脅かされる事件でありました。

## 吉野修験道の成立

役小角は後代、葛城や大峯の修行場を開創した修験道の祖と仰がれました。つまり大海人皇子や役小角の山岳修行は、原始修験道であったといえます。原始修験道とはいかなるものだったのでしょうか。吉野の修験道より追ってみましょう。

大海人皇子、役小角の後、吉野修験道で特筆すべきは、元興寺の僧神叡でしょう。『今昔物語集』巻十一第五には、次のように紹介されています。

「神叡は、悟りの智慧を得た」と思い、大和国吉野郡の比蘇寺の塔に虚空蔵菩薩を鑄付けた。その虚空蔵菩薩に緒をつけ、それを引きながら、「虚空蔵菩薩よ、わたしに智慧を授けたまえ」と神叡が祈りつづけると神託が下

り、神叡は悟りの智慧を得ることができました。」

神叡の他にも大安寺の僧道璿も吉野比蘇寺で坐禅の修行に努め、その弟子である行表は最澄の師でありました。

また神叡が行ったこの修行は「求聞持法」と呼ばれ、原始修行者には広く伝わっていたようです。延暦初年、まだ一沙門であつた空海が「求聞持法」をうけ、吉野や四国の地で修行に明け暮れた話は有名です。

後年、最澄は比叡山、空海は高野山を開き、天台・真言の密教僧が活躍した背景には、彼らが飛鳥時代から始まる原始修験道の系譜に連なっていたこと、さらに人々が修験行者の験力に期待したからでしょう。空海修行の伝承から、とりわけ真言系修験行者は金峯山を拠点に活動するようになります。後に真言系修験行者に祖と仰がれた聖宝も、金峯山で修行をし、

参詣道の整備や仏像造立など金峯山の復興に尽力しました。こうして、吉野を中心とした真言系修験行者により当山派修験が形成されていきました。

## 熊野三山と修験道

吉野と同じく古代より人々の信仰を集めたのが熊野です。熊野は熊野三山、すなわち熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社の三宮をいい、それぞれ家津御子大神、速玉大神、夫須美大神を主祭神とします。

家津御子大神は紀伊国にあらわれた素戔嗚神であり、あまりに災いをもたらすので、「根の国（死者の国）」へと追いやられた神です。速玉大神は根の国の主宰者である伊弉冉神の死のケガレを払う神、夫須美大神は死して熊野（花ノ窟）にまつられた伊弉冉神そのものです。このように熊野三山にまつられる三祭神は、いずれも伊弉冉神に

関連する神であり、熊野信仰は根の国の主宰者である伊弉冉神への信仰、つまり死者の霊に対する信仰なのです。

もともと氏族を中心に集落を構成してきた古代社会では、先祖の霊は年月を経て山をのぼり、神となつて氏族に福をもたらすと考えられていました。これを祖霊信仰といいます。熊野では伊弉冉神が祖霊に代わり祀られたため、いつしか日本国中の祖霊が宿る山となりました。

熊野信仰は夫須美大神を祭神とする那智より始まりました。そう考えると那智滝はその聖域に入るための禊の場所であり、祖霊の籠もる山とはその先にある妙法山であったでしょう。妙法山はその名が示すように、『妙法蓮華経』より名付けられた山で、その修行は壯絶を究めました。たとえばある修行者は、修行の後に骨だけの姿となりましたが、法華経を唱える舌だけ

が生身で残り、山中で法華経を唱え続けたそうです。また妙法山阿弥陀寺の僧であった応照法師は、法華経に説かれる薬王菩薩と同じく仏を供養するため、自分の身を捧げ焼身しました。

こうして熊野は日本国中の祖霊の籠もる土地となり、その母山である妙法山を拠点とした法華行者たちによつて支配されていきます。また天台に馴染みのある法華行者は、本山派修験と呼ばれ、その勢力を吉野と二分するようになります。

## 大峯奥駆道と熊野檢校

独立して成立した吉野と熊野の修験道でしたが、十世紀に入りこの二大霊山が大峯奥駆道によつて結ばれるようになります。

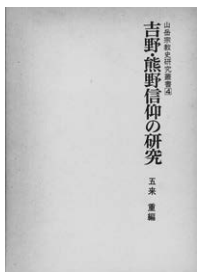
また十一世紀頃には、「熊野より大峯に入り金峯山に参つた」という記録が散見することから、修験行者による大峯奥駆修行が活発になったのでしよう。

寛治四年（一〇九〇）、白河上皇による熊野御幸が行われ、その先達役を務めた園城寺の僧増誉は熊野三山の檢校に任じられました。こうして熊野、吉野の地は大友皇子の菩提寺である園城寺の管轄下に置かれることになりました。

園城寺を通じて修験集団の支配に成功した朝廷は、再び天智系が主流となつており、その権力はいよいよ最盛期を迎えることとなります。しかし時代は武家政権の足音が聞こえ始めており、修験集団もその渦に飲み込まれていくのでした。



『熊野詣』 五来重著  
講談社学術文庫



『吉野・熊野信仰の研究』  
五来重編 雄山閣出版



三井古流煎茶道を学び始めて、もうすぐ三年。先月をもって、ようやく全てのお手前をひととおり習い終えました。

みなさんご経験があるかとは思いますが、ひととおり習ったからといって、すぐに教えられるようになるかというと、それは話が別。お手前の途中で手順を忘れたり間違うことも多々あり、ましてやお茶を煎れながら、お手前のお心を感じ入る余裕もなく、指導者となるにはまだまだ遠い道のりです。

それでも、今の自分でも三井古流煎茶道を知っていたかく術

はあるはず。ということ、紹介できる機会があれば、一人でもお茶を煎れて、多くの方に煎茶道に触れる場所を提供できればと思っています。

まずは、毎月十六日の訶利帝母尊縁日の日。少し心を落ち着けて、お茶を味わいながら参拝の方とお話ができればいいかもしれない。また、もし煎茶道のお手前を見てみたい、味わってみたいという方がいらっしゃれば、お寺の一角で体験してみませんか。お電話でもメールでも結構ですので、ぜひご連絡をください。一緒に、ひとときの安らぎを満喫しましょう。

さて、今回のお菓子は、疲労回復によいと評判の甘酒を使ったお菓子です。アルコールなしの甘酒は、のどごしもすっきりして、ことのほか飲みやすくなっています。その甘酒を使用した甘酒豆腐クリームが絶品。ぜひお試しください。



### recipe.12 甘栗とくるみの甘酒パフェ

【準備】1. 絹ごし豆腐はさっと茹でて水切りをする。2. リンゴは皮をむいて一口大にする。

【作り方】1. 甘酒、絹ごし豆腐、リンゴ、レモン汁をミキサーで混ぜ、甘酒豆腐クリームを作る。2. 器に玄米フレーク、甘栗、クルミの順に盛りつけ、最後に甘酒豆腐クリームを注ぐ。量や比率はお好みで。3. ミントなどを添えると彩りもよくなります。

【材料／4人前】

甘酒豆腐クリーム

甘酒…60g、絹ごし豆腐…1/2丁、リンゴ…1/2、レモン汁…小さじ1

玄米フレーク、甘栗、クルミは器に合わせ適量を。



浜口育弘（文）

浜口緑研究所代表。除草剤などで弱っていた「乃木將軍妻返しの松」を独自の研究によって元気な姿に戻す。連絡は、  
TEL & FAX 0877-22-8986

Denny Horimizu（絵）

生まれ育ちは金蔵寺。金倉寺にて月に1度、EmaFaceを展開。似顔絵、ウェルカムボード他、ご要望があれば承っています。

<http://www.moridukuri.cho-chin.com/>

—金倉寺訶利帝堂前のぐち聞き  
わらべさん。今日も耳を大きく  
して、なにやら頷いています。

世間話もヒソヒソ話もよう聞  
こえる：んーん、分かるわあ：  
何を一人でニタニタしとる  
んや。悪いもんでも御供えされ  
よったんか？

うわっ！ゴロハチおったんか  
いな。ワシの仕事やで。ほっと  
いてんか。

そないな大きな耳で盗み聞き  
するんが仕事かいな。ところで  
そこにある梅の木、変な輪つか  
ができとるなあ。

あつ、あれな。ボクが作った  
んで。あの輪を通して話してく  
れた方がよう聞こえるきん。そ  
れであの輪を作ったんや。けど、  
あの輪が低すぎてなあ。実はも  
う一つ高い所に作ってあるんや。  
知つとるで。

この二つの輪を通して、境内  
中の話がよう聞こえるんで。や  
けどこれはみんなには内緒や。

二人だけの秘密にしとこうな。  
いや、それは出来ん。みんな  
なに知つてもろうてこそ、みん  
なの本当の声が聞けるもんやで。

おい、ホルトさん！あんたの  
トコの輪はぐち聞きわらべさん  
が、作ったもんやで！

そうやったんか。いつの間に  
か輪ができよって、不思議に思  
とったんや。ところで、ゴロハ  
チよ。近頃頭の方が薄うて気  
なつとるんやが。

ホルトさん、若ハゲか？

おかげで、光があたるとヒリ  
ヒリしよる。なんとかしてや。

どれどれ、炭酸ガスが多いの  
と血の巡りが悪いのう。血糖値  
も高いし体はでかい。おまけに  
傷が治りにくいときてる。体中  
になにやら居るみたいやで。

病気は内から治さないとかん。  
和尚は切る専門やがな。

助けもするで。ゴロハチ、手  
伝うてくれんか。

内から治すには、まず根から

や。根に直接養分をやらなあか  
ん。さて、ゴロハチ特製ドリ  
ンクを飲んでみな。

—ゴロハチ特製ドリンクをおい  
しそうに飲むホルトさん。ごっ  
くんごつくん：あつという間に  
一一〇〇リットルを飲み干して  
しまいました。

体中が温かくなつてきおつ  
た。芽も根も出るでっつ！

おつ、ボクのマイクもよう聞  
こえるわ。みんなそれぞれ、笑  
うたり泣いたり、ほんまに良  
かった。最近ちょっと聞きにく  
かったんや。それで耳を大きく  
しとったんや。

皆が良うなつてよかった。

そういえば、ゴロハチの耳も  
でかいのお。なんぞ聞きにくい  
ことでもあるんか？

生まれつきや！気にしとるき  
ん、ほつといてんか。

—皆さんの話声も、ぐち聞きわ  
らべさんの耳には届いているよ  
うですよ。

元になる？



その14、巳年

元になる！

来年の干支は、巳。巳（へび）と聞いて、皆さんは何を連想するでしょうか。一般的に、蛇は執念深いか悪くイメージされることがよくあります。

一方で、蛇は金運をつかさどるといわれるのはよく聞く話。蛇は古代インドでは弁財天さまの使いといわれ、さらに白蛇は弁財天の化身ともいわれていました。弁財天さまといえば、金運や財産運にご利益があるといわれる神様。そこから、白い蛇が家に住み着いたらその家は金運に恵まれる、蛇を見たら金運がアップする、などと言われるように

なつたのです。

また、ご存じのように蛇は脱皮する生き物です。蛇の抜け殻を財布に入れておくとお金が貯まるとよくいわれますよね。これは脱皮という行為が無限に続く生命を現していると信じられたため、その蘇生力が皮にも宿り、財布の中にあるお金を無限に増やしていく力があると考えられたことから伝わった話のようです。また、お金が身（巳）につく、実（巳）入りが良くなる、など駄洒落のようにいわれる説もあります。

いずれにしても、来年はそのお金が宿るといわれる巳年。このところの不景気続きで元氣のない日本にとって、希望の第一歩となるような明るい一年になるといいですね。また、もちろんこのYUJを手にとつてくださる皆さんにとって、心豊かな素晴らしい一年となりますよう、願わずにはいられません。

小僧さん

自習室



その14、円珍さん<sup>13</sup>

天台座主となつた円珍さんは、延暦寺の本堂の大修理にとりかかりました。これまで、文殊堂、薬師堂、経藏と横一列に並んでいた小堂の上に、大きな屋根をかぶせ、九間の大堂にしました。こうして現在延暦寺の総本堂である根本中堂が完成しました。元慶元年（八七七）、円珍さんはふいに「円載師の船が沈んでいる」と告げ、涙を流しその死を悼みました。円載とは共に仏法を求め唐を旅した仲間。その円載が千巻以上の経典類を持ち帰るため、乗船した船が難破し、全てが海に飲み込まれてし

まったというのです。後に唐から帰国した智聡が円珍さんに円載の訃報を告げると、山内一同が驚いたそうです。

またある日、三井寺山内を歩いていた円珍さんが、石橋に差し掛かり、ふと西の空を眺めると、「唐の青龍寺が燃えている」といいました。すぐに真言を唱え閻伽水をかけると、一筋の雲が起こり西の空に飛んでいきました。後日、青龍寺から火災を鎮めてくれた礼状が届いたということでした。この石橋は「村雲橋」と呼ばれ、現在も三井寺勸学院の前に残っています。このような霊験譚を残す円珍さんの毎日は、おそらく、仏界との対話ではなかったのでしょうか。



『智証大師 円珍』  
小林隆彰 東方出版

# 天台大師報恩講

随かいこうの開皇十七年（五九七）

十一月二十四日、中国のお釈迦さまといわれた偉大な僧侶が入滅はうめつされました。それは天台大師さまです。随ずいの晋王しんおう（後の煬帝ようだい）からも深く崇敬すうけいされ、

「智者大師ちしや」の名を贈られましたので、正しくは智者大師さまですが、天台山で修行され、入滅の地も天台山であったため、天台大師の名で親しまれています。

天台大師は大同四年（五三八）荊州華容けいしゅうかよう県こなんしやう（湖南省華容県）に生まれ、光州大蘇山こうしゅうだいそざんにて慧思えいし禅師に教えを請い、太建七年（五七五）より天台山に入つて



天台大師坐像

『法華経』を中心に仏教を体系化し、禅の一字に統一した天台教学きやうがくを確立たてまつされました。

伝教大師でんきやうだいしは、中国天台山を訪れ、天台大師の法脈ほうみやくを相承そうじやう、帰国後、比叡山ひいざんに日本天台宗を開創くわうされました。

天台寺門宗てんたいじもんしゆの宗祖智証大師ちしやうだいしも天台山てんたいざん国清寺こくせいじで天台教学を学んでいます。智証大師の日記『行歴抄ぎやうれきしやう』には、「智者大師の墳墓ふんぼが遙かに見えてきた。私の心は踊り、感激し、常のごとく保てなかつた。古い着物を脱ぎ、天子より賜った紫衣ししえを着て、墳墓の前に至り何度も礼拝した」と、天台大師の霊蹟れいせきを参拝したときの感動を伝えていきます。

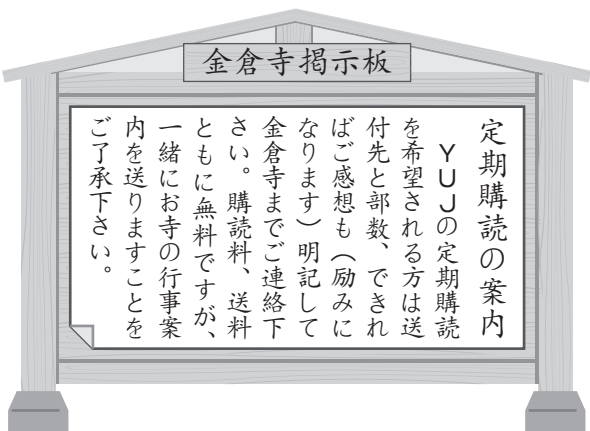
金倉寺では、天台大師御入滅の月遅れである十二月二十三日午前十一時半より、「高祖天台大師御報恩講」を行います。法要終了後は、布教師による法話もありますので、皆さまのご参拝お待ちしております。

皆さまのご参拝お待ちしております。

# 宗智証大師生誕

## 一一〇〇年慶讃大法会

来る平成二十六年（二〇一四）には、智証大師生誕一一〇〇年を迎え、この節目に立ちあえる喜びを皆さまと共有したいと、金倉寺では一年前にあたる平成二十五年三月二十三（土）二十五日（月）の三箇日、記念法要を行います。是非皆さまのご参列いただきますよう、お願い申し上げます。



### 金倉寺揭示板

定期購読の案内  
YUJの定期購読を希望される方は送付先と部数、できればご感想も（励みになります）明記して金倉寺までご連絡下さい。購読料、送料ともに無料ですが、一緒にお寺の行事案内を送りますことをご了承下さい。

### ■編集後記

哲済 すいません！前回の宣言を覆し、特集を「山岳修験」から「吉野熊野」に変更してしまいました。本当はもう少し広い年代で山岳修験の流れを取り上げたかったんですが、吉野・熊野の原始修験だけに余白がなくなるのは：いつもやけど、いろいろ詰め込もうとすきやない？

哲済 あれでもだいぶ削ったんで。その削った分をブログで「YUJ番外編」として書こうと思ってるやけど。

香祥 いっそ特集だけでYUJを作ってみたら：平成二十四年十一月五日発行編集・発行 金倉寺 発行人 村上法照

お問い合わせは 〒七六五-〇〇三二 香川県善通寺市金蔵寺町一六〇 TEL〇八七七-六二一〇八四五 yuj@kagawa-konzouji.or.jp

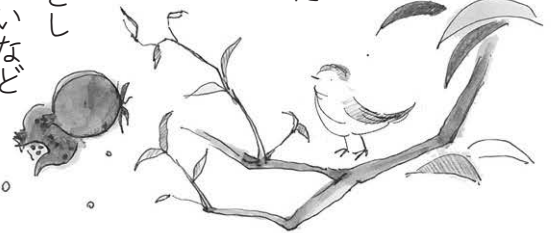
# おかるさん



今年の夏から秋にかけて、おかるてんさんが複数の新聞社やテレビ局の取材を受けました。新聞では、新旧の絵馬を中心とした内容で紹介していただきましたが、テレビは、高齢化による子授け、出産の話題など、より踏み込んだ内容となり、改めて身の引き締まる思いで、取材を受けました。

放送後、絵馬を奉納したい、御守として持ちたい、あるいは娘さんに渡したいなど、たくさんの方が様々な思いで来られました。カメラマンさんもつい最近お父さんになられたそうで、そういう視点で見てくれたからこそ、目にとまったのではないかと思います。

お参りに来てくださった方の多くも、御縁があるに違いない、との思いで来ましたが、とおっしゃっていただき、ありがたいなあと思うと同時に、自分たちが今できることを続けてやっっていくことの大切さを感じました。



日	月	火	水	木	金	土
		初護摩供	2	初護摩供	4	5
6	7	戌の日	9	8	11	12
13	14	15	訶利帝母縁日	17	18	19
戌の日	21	22	23	24	25	26
27	護摩供	29	30	31		

一月 睦月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	戌の日	10
11	12	13	14	15	訶利帝母縁日	17
18	19	20	戌の日	22	23	24
25	26	27	護摩供	29	30	

十一月 霜月

日	月	火	水	木	金	土
					戌の日	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	戌の日	14	15	訶利帝母縁日
17	18	19	20	21	22	23
24	戌の日	26	27	護摩供		

二月 如月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	戌の日	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	戌の日
訶利帝母縁日	17	18	19	20	21	22
23 天台大師報恩講	24 31	25	26	戌の日	28	29

十二月 師走

訶利帝母縁日

毎月16日午前10時から午後2時まで  
訶利帝堂内に参拝できます

不動尊護摩供

毎月28日午前11時から本堂にて  
護摩祈願を行います(12月はお休み)

着帯戌の日

戌の日の午前11時と午後2時より安産祈願を行います(行事などによる変更あり)